

『津島ホタルの会』 学習会

ホタル田界限 歴史ロマン探訪



これは何ですか。名前を知っていますか。

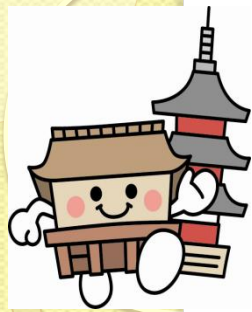


津島市立南小
浅井 厚視

古墳時代について学ぼう

- ☆ 考古学とは
人とかかわった『モノ』を扱う学問
- ☆ 遺構とは
昔の人が掘った穴・溝・井戸・住居
- ☆ 遺物とは
昔の人が使った道具・ごみ

- ☆ 土の層の上下 下が古く、上が新しい
道具の移り変わりによる編年



クイズ1 古墳時代になると 米作りは盛んとなった。



古墳時代の遺跡の中には、水田のあとがはっきりとわかる遺跡があります。水田の中には、鳥の足跡も見つかっています。



クイズ2 土器の発明は食事を おいしくしたか。



土器が発明される以前は料理は「焼く」料理。「煮る」「炊く」ことができるようになり、スープなど料理の幅が広がりました。

縄文→弥生→古墳 時代のとらえかた

いろいろな縄文土器を競争してつくった時代

三内丸山遺跡 貯蔵用から煮沸用・貝塚・竪穴住居・農
耕生活の開始・大きなムラ・とりひきの開始

戦うことが「えらい」と言われた時代

吉野ヶ里遺跡 台付甕・米作り・治水・高床式倉庫・貧富の
朝日遺跡 拡大・環濠集落・戦いの時代・逆茂木・銅鐸

卑弥呼・邪馬台国

「えらい人」は古墳や副葬品をつくった時代

大山古墳 須恵器・埴輪・前方後方墳から前方後円墳へ
西上免・断夫山 銅鏡・勾玉・管玉・記紀神話の伝承

日本武尊
大和王権



クイズ3 愛知県で一番大きな古墳は青塚古墳である。



1番大きな古墳は断夫山古墳（名古屋市熱田区）・2番青塚古墳（犬山市）・3番白鳥塚古墳（名古屋）・4番味美二子山古墳（春日井）の順。



クイズ4 尾張地方の代表的な埴輪は円筒埴輪である。



尾張地方の代表的な埴輪は物の形をあらわす形象埴輪でなく、円筒形の円筒埴輪。この地区のあな窯で焼かれた。

古墳時代の時代の分け方

愛知県の代表的な遺跡をもとに区分しています。

早期	2世紀	廻間Ⅰ式
	3世紀	廻間Ⅱ式
前期		廻間Ⅲ式
	4世紀	松河戸Ⅰ式
松河戸Ⅱ式		
中期	5世紀	宇田Ⅰ式
		宇田Ⅱ式
後期	6世紀	儀長式

土器による区分

前期	200 ～	西上免（一宮市） 奥津社（愛西市） 東之宮（犬山市） ニッ寺神明社 青塚（犬山市） 白鳥（名古屋）
		妙感寺古墳 高田古墳 豊場青塚古墳 八幡山古墳
中期	400 ～ 500 5世紀	断夫山（名古屋） 味美二子山（春日井市）
後期	500 ～ 6世紀	

古墳による区分

古墳から出土したもの



古墳から出土したもの 2



クイズ5 古墳時代に作られた 代表的な焼き物は須恵器である。



古墳時代の焼き物は、朝鮮半島から伝わった須恵器。今までの土器は土師器と呼ばれた。

クイズ6 尾張地方では卑弥呼の鏡（三角縁神獣鏡）は出土してしない。卑弥呼の時代も古墳時代？になりつつある。



奥津社古墳からは、近畿地方から出土していた鏡と同じ鏡が出土している。この三角縁神獣鏡こそ魏志倭人伝の卑弥呼の鏡と考えられる。

あま市・津島市の弥生・古墳時代

最初に津島に住んだ「弥生人」は、農業と漁業とを行う人でした。寺野遺跡（津島市寺野町）からは漁業の道具（魚つりのうき 土錘）が出土しています。



愛西市・千引町
奥津社古墳
三角縁神獸鏡



尾張国島田上・下県（あがた）に「悪神」がいて、これを滅ぼした豪族が島田臣を賜ったという記録があります。
 「悪神」＝県主 大王の命に背いたので滅ぼされたという
 「古事記」「尾張国神名帳（天野 信景）」

宇治城と織田源五郎長益

宇治町にある福祐寺は戦国時代の宇治城の跡です。宇治城は鎌倉時代の関白藤原道家の子孫にあたる篠田左衛門の城で、篠田氏は荘園時代から海東郡に力をもっていた豪族でした。宇治の町名はこの藤原道家が山城国宇治に住んでいたためとも、この辺りに荷物を運んだ海路（海路）があったことに由来するとも言われています。

この城に目をつけたのが織田信長でした。信長は自分の弟の源五郎（げんごろう）長益（ながます）にこの城を与えました。長益は永禄元年（1558）にこの城を立派になおし、荷之上の服部左京進に備えたようです。こうして海東郡51ヶ村をこの地で支配しました。長島一向一揆の戦いで服部党を亡ぼすと、長益は宇治城をなくし、蟹江城に入りました。江戸時代となり、福祐寺を再建した時に地下から城につかわれた石が多数出てきました。それらの大石は福祐寺や光明寺の踏脱石として使用されたとされています。

